

「学生の皆さんへ」

獨協医科大学学長 吉田謙一郎

新学期が始まりました。学生の皆さんは本来ならキャンパスで勉学に励み、クラブ活動を行い、また友人と語らう楽しい学生生活を送るところですが、新型コロナウイルス感染の拡大で登校が制限され、またカリキュラム通りの授業が行われていません。この際、皆さんに学長としてメッセージを送りたいと思います。

我国は世界に蔓延している新型コロナウイルスの影響の真ただ中にあります。4月7日に緊急事態宣言がなされました。国民は等しく甚大な被害を受けています。感染終息の目途がたたず、全ての日本国民が何時感染するかもしれないという不安に駆られています。社会活動や経済活動の急速な減速による経済的大打撃、文化活動の停止等による社会不安も増大しています。その様な社会情勢ですが、学生の皆さんとしては、今後どのような形で授業が行われるのか、実習はどうなるのか、国家試験やその対策はどうなるのかなど、身近な問題として色々な不安を抱えていることと思います。

大学は学生、教職員の健康面での安全に配慮しつつ、教育活動の継続性を担保するために現在オンライン授業を中心に取り組んでいます。対面授業の再開の時期を見通しつつ、なお長期化することも視野に入れ、皆さんの修学の機会と、修学の質を維持するよう、日々変化する感染状況をみながら、各学部と専門学校の学生生活委員会、教務委員会では今後の善後策を練っています。学生個々の困り事などは、現在も担任の先生方が対応していますので、随時ご相談ください。また大学の3病院では、一般患者の対応のみならず、新型コロナウイルス患者の対応にも心血を注ぎ、地域の医療センターとして、その任を果たしています。

学生の皆さんは、どうか感染防止への意識を緩めることなく、取るべき行動は何なのかをよく考え、将来の医療を担う獨協医科大学の学生であることの誇りを持って規律ある行動を取ってください。

このウィルスの残酷な点は皆さん一人一人が一番大切な人を守るために大切な人から離れなくてはいけないということです。人が苦しい時には共に手を携え傍らにいたいのですが、それができないと言うことが、このウィルスの怖さで

もあります。将来の医療人となる皆さんは如何に人と人との繋がりが大事であるかが、この際お分かりになった事と思います。患者さんは何時もこの様な気持ちで日々を送っているのです。この機会に医療には「心」の部分が大切であることを心に刻んで下さい。

日本人は生真面目さ、忍耐強さ、高いモラルが有り、そして我国には世界に誇るべき衛生環境が整えられています。その事を考えれば、ウィルスの撲滅は可能であると思っています。皆さんは未来の医療を切り開く一人として、この困難な環境を一緒に乗り越え、早期に登校が可能となり再び楽しい学生生活を送れることを一緒に待ちましょう。